

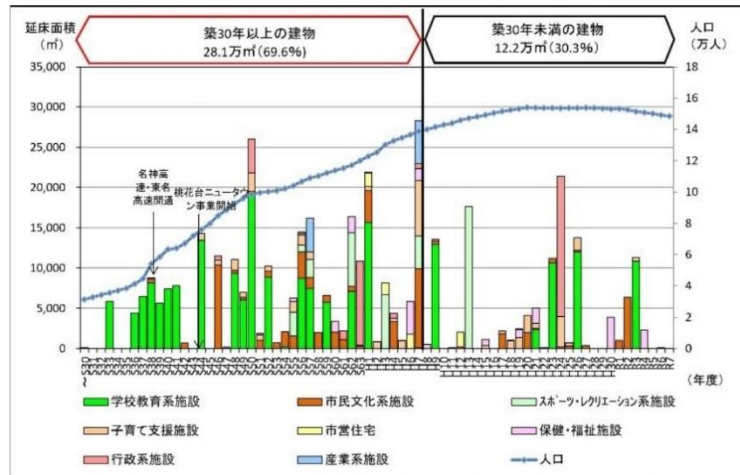
1 財政運営

主な課題

- 人口減少と高齢化の進展に伴う課税対応、経済情勢の影響による企業収益の悪化、社会保障給付の増加などが歳入に及ぼす影響を適切かつ継続して分析するとともに、市税以外の財源の確保にも努める必要があります。(➡施策①)
- 各分野の進捗や現状を把握するため、その分野を代表する主な指標を示しています。
※基準値は、原則として令和7年度の数値を示しており、基準年が異なる場合は、基準値の下に () 書きで示しています。
※各施策の進捗状況を評価するための指標は巻末に一覧で示しています。
- 過去の人口増加時代にあわせた更新時期が迫っており、施設の維持、更新のための多額の経費が財政を圧迫することが懸念されることから、公共ファシリティマネジメント※を強力に推進していく必要があります。(➡施策④)

分野における主な課題を整理し、それぞれの課題に対応する施策を文末に () 書きで示しています。

専門用語などは巻末に解説を掲載しています。



関連する計画：

小牧市公共施設長寿化計画（平成28（2017）年度～令和28（2046）年度）
各分野の狙いをわかりやすくするため、施策の推進により実現したいまちの姿を簡潔に示しています。
小牧市まちづくり基本計画（平成28（2017）年度～令和28（2046）年度）
管理計画（平成28（2017）年度～令和28（2046）年度）

目指すまちの姿

たゆまぬ業務改善と、稼ぐ力（利益を生む仕組みづくり）で、将来にわたって健全な財政運営を続けられるまちにします。

代表的な指標

指標	令和7年度 基準値	令和12年度 目標値	令和16年度 目標値
経常収支比率	91.2% (令和6年度)	90.0% (令和11年度)	90.0% (令和15年度)
実質収支比率	4.4% (令和6年度)	5.0% (令和11年度)	5.0% (令和15年度)
実質公債費比率（3か年平均）	0.1% (令和6年度)	1.6% (令和11年度)	1.6% (令和15年度)

施策① 受益者負担の適正化と歳入確保の強化を推進します

- ・ 受益と負担の適正化を図るため、定期的の使用料・手数料などの見直しを実施します。

分野が目指すまちの姿を実現するための施策の目標を示しています。

施策② 歳出の削減と合理化を推進します

- ・ 執行状況を踏まえた予算査定及び事業の効率化、集約化などによる歳出削減に取り組みます。
- ・ 補助金などの適正化を図るため、課題の解決に向けて、施策の目標を実現するための具体的な取組を示しています。